

平成29年度卓話集会におけるディスカッションの概要

No.	地区名	質問・要望・提案	回答
1	山王町	おあしず事業の開始以来、この地区の担当をしている。老人会や民生委員など通じて高齢者を中心に参加を呼び掛けているが、思うように集まらない現状がある。どうすれば、参加者を増やすことができるか。	町では広報を全戸配布して情報を発信しているが、お知らせした内容を知らなかった、伝わっていなかったという意見もよく聞くところである。特に地域に密着した事業等の案内は、区長さんを通じてお知らせするか、掲示板に掲出するくらいしかできない。皆さんの口伝えに期待しているのが現状である。
2	山王町	朝の子どもの居場所づくり事業や放課後子ども教室事業に携わっている。その中で感じるのは、子ども達は身体は健康だけれども、あいさつができない、ありがとうが言えないなど、心が不健康であるということである。心と体が健康であることが本当の健康であると思う。大きな声を出すことで心身の健康につながると思う。	あいさつができるということは非常に大切なことである。出勤時に職員に声掛けすることを徹底しているが、日々続けることで返事の声も大きくなってきたと感じている。こうした取組みが、役場からも広がっていくよう続けていきたい。また、子ども達に対しては、根気よくやるしかないと思うので、若い世代の親にも伝えていきたい。
3	山王町	健康のためにできるだけ歩くようにしているが、ただ歩くだけなのでつまらないと感じる。大磯には、景観、眺望、歴史など名所がたくさんあるので、これらをPRできるような目印となる看板が欲しい。これでは大磯に来て歩いている人たちにとっても、楽しみがないと思う。楽しみがないと、なかなか続けることはできない。	神奈川県からの交付金を活用し、大磯が誇れる歴史的な名所など、主要なところには看板を増やしている。少しずつ増やしていけるよう、今後も考えていきたい。
4	山王町	健康寿命というと、体の健康のことばかり言われるが、頭の問題も考えなければならない。いずれは身体は衰えるが、頭はまだ元気なことが多いと聞く。身体が衰える前から、例えば囲碁、将棋、麻雀などの頭の体操ができないかと思っているが、よい方法はないか。	生涯学習に関する様々なメニューを設けており、囲碁や将棋なども行っている。メニューをお届けするので、活用していただきたい。 また、エリザベスサンダースホームを会場に「コミュニティカレッジ」という地域の大学が開かれており、地域の中で学習することができるので紹介させていただく。
5	山王町	大磯駅前の再整備に関して、旧自転車駐車場の跡地はどのようにしていくつもりなのか。駅側にある店舗、観光協会、交番の移設も含めて整理していくべきではないか。	営業している店舗もあるので、安全・安心面などそれを動かすだけの理由がないと難しい。全体的な検討は進んでおり、駅周辺の住民など参加する会議体での検討も始まっている。その資料や概要は順次公開している。

6	山王町	<p>大磯港で進めている、海版の道の駅(みなとオアシス)の進捗状況はどのようになっているか。</p>	<p>町と一体的に整備する漁業協同組合とも最終的な調整を進めている。計画どおりに着実に進捗している。</p>
7	山王町	<p>高齢者が散歩するためには、どこで休憩できるか、どこにトイレがあるかを考えながら、コースを設定する必要がある。健康のためにできるだけ散歩するように気を付けているが、確実に効果があると実感しており、他の人にも勧めている。</p>	<p>ベンチなどの休憩場所を望む声は聞いている。町では散歩コースを設定しているが、ある程度長い距離のコースであり、休憩場所を考えられていない部分もある。このため、1000歩、2000歩などの手軽に実施できるコースを考えていきたいと思っている。その中で休憩できるベンチや水飲み場などの情報も示したいと考えている。</p> <p>トイレに関しては、観光トイレ等の整備が完了した。最新の設置場所を示したものは、きちんと広報していきたい。</p>